

環境目的・目標

各部署で生じる環境への影響の原因となる活動や製品やサービスを洗い出したうえで、会社が管理すべき環境改善項目（環境目的）と維持管理項目を下記の1～10に示すとおりに決定しました。
複数部署で横断的に取り組むべき項目については、プロジェクトチームを発足させ、プロジェクトチーム単位で取り組みを推進しました。

2003年度の環境目的・管理項目	
環境目的・管理項目	環境目標・管理
1 鉄道電力の削減	使用電力量の削減
2 列車騒音・振動の低減	列車走行による騒音・振動の低減の実施
	列車走行による騒音・振動等苦情の把握
	列車走行による騒音・振動等実情（定期測定）の把握
3 工事騒音・振動の低減	直営・請負作業の騒音・振動配慮の実施
4 エコオフィスの推進	各種紙・電力・ガソリン・ガス・水の使用量の削減
5 資源・エネルギーの使用削減	資源・エネルギー使用量の把握
6 廃棄物の削減と適正処理	廃棄物の数量把握
	廃棄物管理手順の構築
7 環境リスク管理	フロン、PCB、アスベスト、危険物、土壌汚染リスクの管理など
8 グリーン購入の推進	特定調達品目のグリーン購入
	コピー用紙・帳票類等の再生紙購入
9 環境配慮設計の推進	環境配慮設計の検討実施
10 環境情報開示の推進	環境報告書（2004年度版）の発行

ecoカード

ecoカード

京阪グループの環境理念

京阪グループは、「地球環境の保全是人類共通の重要課題の一つである」との認識のもと、環境の保全や資源の保護に配慮し、自然環境にやさしい企業運営を目指すことで、持続的に発展できる社会の実現に貢献します。



当社では、「環境理念」や「環境方針」を記載した「ecoカード」を全社員に配布し、常時携帯させることにより環境理念・方針の浸透を図っています。

京阪電気鉄道の環境方針

京阪電気鉄道は、京阪グループの環境理念に基づき、鉄道事業を基幹とした様々な事業活動から生じる環境への影響に配慮し対応していくことを社会的責務と認識し、次の通り「環境方針」を定めます。

- 1. 意識の向上**
私たちは、環境への影響を常に考えながら業務に取り組み、問題発生に対する意識の向上を図ります。
- 2. 法規の遵守**
私たちは、環境に関する法規制や当社が受け入れを決めた要求事項を遵守します。
- 3. 目的や目標の設定と継続的な改善**
私たちは、環境にやさしい事業運営につながる目的や目標を設定し、それらを達成するために仕事の進め方を見直しながら、継続的な改善を推進します。

4. 環境負荷の低減や環境汚染の予防

私たちは、限りある資源を有効に利用し、省資源・省エネルギーの推進や廃棄物の削減などを図ることで、環境負荷の低減や環境汚染の予防に努めます。

5. 重点実施項目

私たちは、当社の事業活動による環境面での影響の特性を考慮し、次の項目について重点的に取り組めます。

- (1) 鉄道騒音・振動の低減
- (2) 鉄道電力の削減
- (3) 環境配慮設計の推進

6. 地域社会への貢献

私たちは、企業市民であるという自覚を持ち、環境に配慮した日常の行動を通して地域社会に貢献します。

この環境方針は、全従業員に周知させるとともに、社外にも公開します。

平成15年6月2日

京阪電気鉄道株式会社
取締役社長 長谷川 誠